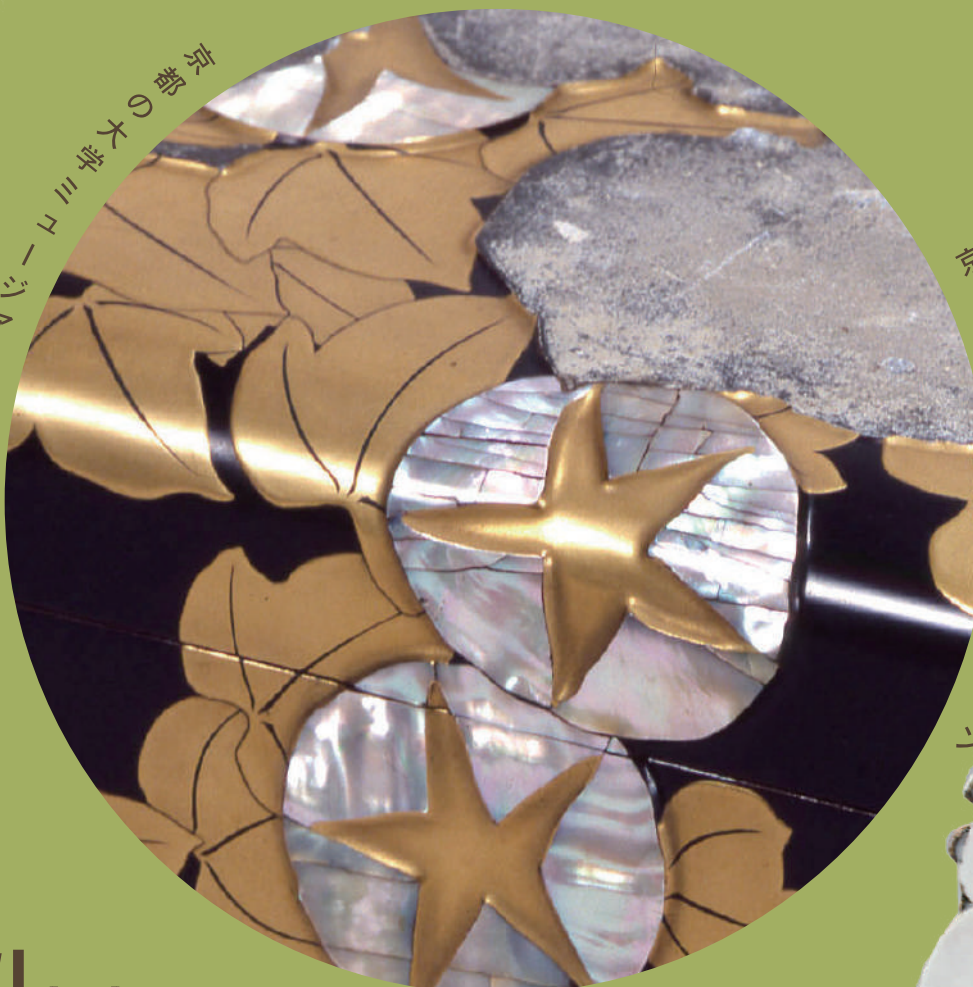


浅井忠と 近代京都のデザイン



ミュージアム特集1
三浦雄太郎の夢



京都工芸繊維大学コレクション



2023

4.14 [fri]



5.28 [sun]

会場

みやこめッセ


地下1階 WEST SQUARE Window Gallery



●休館日 2023.4.24 [mon] ●開館時間 9:00 ~ 17:00 ●入場無料

●住所 〒606-8343 京都市左京区岡崎成勝寺町9番地の1 ●アクセス 地下鉄東西線「東山駅」より徒歩約8分

●主催 株式会社京都産業振興センター 京都伝統産業ミュージアム ●共催・企画 京都工芸繊維大学美術工芸資料館 ●協力 京都・大学ミュージアム連携

 京都伝統産業ミュージアム
Kyoto Museum of Crafts and Design

 みやこめッセ

京都工芸繊維大学
美術工芸資料館
MUSEUM AND ARCHIVES

京都・大学ミュージアム連携
University Museum Association of Kyoto

中央：浅井忠図案、杉林古香製作《朝顔蒔絵手箱》(部分) 1909 AN.1617 右上より時計回り：浅井忠図案(九雲堂)《大津絵角皿》(部分) 1907頃、浅井忠図案、四代清水六兵衛製作《菊文様皿》(部分) 1907頃 AN.5461、浅井忠《梅図花生》(部分) 1902-07 AN.3283 すべて京都工芸繊維大学美術工芸資料館蔵

浅井忠 と 近代京都のデザイン



①

京都にある大学ミュージアムのコレクションから京都の伝統産業や芸術などを考える特集が始まりました。記念すべき第1回は、京都工芸繊維大学から浅井忠と京都の美術工芸にまつわる資料をご紹介します。



②

京都工芸繊維大学の前身校のひとつである京都高等工芸学校は、明治35年(1902)、京都の伝統産業の近代化をバックアップし、世界に通用する新しいデザインを生み出す人材育成を目的に設立されました。図案科の初代教授となった浅井忠(1856-1907)は、東京美術学校西洋画科の教授をつとめ、日本の洋画の発展に大きく寄与した人物ですが、1900年に留学先のフランスでアール・ヌーヴォーと出会い、デザインの面白さに目覚めます。

浅井は、京都高等工芸学校でデザインの基礎となるデッサン教育に従事する一方、京都の伝統産業界の関係者らとともに、遊陶園や京漆園といった研究団体を立ち上げ、伝統にとらわれない新しい趣向の陶磁器や漆器を生み出しました。明治40年には、祇園に自身がデザインを手がける陶器店、九雲堂を開店させています。アール・ヌーヴォーをはじめ、琳派や大津絵など幅広い芸術に深い関心を寄せた浅井のデザインは、実物のかたちを正確にとらえつつ、柔らかく愛嬌のあるものが多く、今でも我々の心を魅了しています。

明治末、京都の伝統産業界に大きな影響を与えた浅井忠の多彩なデザインと、同時期に浅井らの選定によって収集された京都高等工芸学校のデザイン教材をあわせてお楽しみください。



③



④



⑤

①浅井忠図案、杉林古香製作《朝顔蒔絵手箱》1909 AN.1617 ②浅井忠《梅園花生》1902-07 AN.3283 ③浅井忠図案、四代清水六兵衛製作《菊文様皿》1907頃 AN.5461 ④浅井忠図案(九雲堂)《大津絵角皿》1907頃 ⑤ショワジー・ル・ロワ製陶所《果実文花瓶》1902以前 AN.0767 すべて京都工芸繊維大学美術工芸資料館蔵

アクセス

- 東山駅から=地下鉄東西線「東山駅」より徒歩約8分
- 京都駅から=5系統「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車/206系統「東山二条・岡崎公園口」下車
- 四条京阪から=46系統「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車/31、201、203系統「東山二条・岡崎公園口」下車
- 四条河原町から=5系統「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車/32、46系統「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車/31、201、203系統「東山二条・岡崎公園口」下車



●地下1階へのアクセス

二条通から地下入口への階段を降りるか、東口から入り館内で地下へ降りてください。



お問合せ 京都伝統産業ミュージアム
TEL : 075-762-2670 FAX : 075-751-1692
<https://kmtc.jp/>

京都伝統産業ミュージアム
Kyoto Museum of Crafts and Design